学校番号	312

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「標準　文学国語」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、「文学作品を読む」ことを通して、文章の読解力・鑑賞力を身につけます。
・さまざまな文章にふれることで、基本的な国語力だけでなく「正しい日本語」「美しい日本語」を使えるようにするとともに、自分の思いや考えを伝えるための表現力を深めましょう。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。授業中のノートについては、板書を丸写しするのではなく、自分なりに理解したことを盛り込んで書くようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばし、自分以外の他者の思いや考えを正確に理解したり、深く共感したりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとする態度を養うとともに、常に他者を思いやりながら他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	現代の小説を味わう(1) ［教材］ 「調律師のるみ子さん」 (いしいしんじ)	a:常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]:「るみ子さん」の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上に起こった出来事を通して読み取れている。 c:老人が「るみ子さん」の調律に求めていたことについて、積極的に自分の考えをまとめて示そうとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	現代の小説を味わう(2) ［教材］ 「デューク」 (江國香織)	a:常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[書]:・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、自分の考えを書こうとしている。 c:「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	随想を読む(1) ［教材］ 「花のいざない」 (観世寿夫)	a:常用漢字を習得し、語彙を豊かにしようとしている。 b[読]:日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解している。 c:粘り強く随想を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について説明しようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	現代の小説を味わう(3) ［教材］ 「ナイン」 （井上ひさし)	a:常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]:・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察しようとしている。 c:場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
2	詩を味わう ［教材］「わたしが一番きれいだったとき」 (茨木のり子) 「死んだ男の残したものは」 (谷川俊太郎)	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[書]:作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 c:象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解しようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	現代の小説を味わう(4)	a:常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。	課題提出 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 振り返りシー

	［教材］「相棒」 （内海隆一郎）	b[読]：時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を理解している。 c：登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿ってく読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとしている。	小テスト	ノート提出	ト ノート提出
	近代の小説を味わう（1） ［教材］「山月記」 （中島敦）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考えようとしている。 c：・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	随想を読む（2） ［教材］「真珠の耳飾りの少女」（原田マハ）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにしようとしている。 b[読]：フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 c：作者のものの感じ方を踏まえた上で、自身の人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
3	現代の小説を味わう（4） ［教材］「バグダッドの靴磨き」 （米原万里）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[書]：登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解している。 c：「僕」が拳銃を買おうとしていることに対する自分の考えを「お客さん」のせりふとして表現を工夫して書こうとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	現代の小説を味わう（4） ［教材］「旅する本」（角田光代）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 c：作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出
	近代の小説を味わう（1） ［教材］「鼻」（芥川龍之介）	a：常用漢字を習得し、語彙を豊かにするとともに、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 b[読]：・鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解こうとしている。 c：典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	課題提出 定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 ノート提出	授業態度 振り返りシート ノート提出

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間